

よくあるご質問（先生方向け）

■『まなべる基金（第7期）』の先生方のみに関連するご質問

Q1：おおまかな応募方法の手順を教えてください。

A.1：以下の手順に従って応募ください。

- 手順① まなべる基金ホームページより、応募関連書類一式をダウンロードしてください。
 - 手順② ダウンロードいただいたフォルダー内にあるチラシを印刷のうえ、生徒に配布ください。
 - 手順③ 学校内で応募者の書類のとりまとめの応募書類提出締切日を設定してください。
 - 手順④ まなべる基金に応募を希望する生徒に、ダウンロードしていただいた書類のうち以下の書類を片面印刷の上、お渡しください。
 - ・『奨学金応募関連書類』
 - ・『応募書類記入見本』（※記入見本のため、こちらは両面印刷でも問題ありません。）
 - 手順⑤ 応募者全員分の応募書類一式をとりまとめの上、以下2点のご郵送にて事務局宛にお送りください。
 - ・ 応募者リスト・・・1通（学校でご記入、学校長の捺印が必要）
※ダウンロード書類一式の中に書式がございます。
 - ・ 応募書類・・・人数分（応募者が記入。奨学金担当の先生の署名・捺印が必要）
- 応募締切：平成29年10月6日（金） ※消印有効

Q2：応募書類がダウンロードできません。

A.2：以下の内容のメールを当財団にお送りください。折り返しメール添付にて応募書類一式をお送りいたします。

宛先：manaberukikin@minnade-ganbaro.jp

件名：まなべる基金第7期応募書類希望

本文：学校名、担当先生氏名、学校電話番号をご記入ください。

Q3：学校からの提出書類はどんなものがありますか？

A.3：Q1をご参照ください。

Q4：一部の生徒の書類が届かない場合はどうしたらいいですか？

A.4：一部の生徒の書類が届かない場合も、学校ごとに校内の応募者全員分をとりまとめの上、締切日までに提出先までにご郵送ください。なお、上記状況について別途事務局までご連絡ください。

Q5：応募書類を両面印刷してしまいました。両面のまま提出してよいですか？

A.5：両面印刷では受理できません。片面印刷したものを準備してください。

Q6：奨学金願書や必要書類をE-mailやファックス、直接の持ち込みで提出することは可能ですか？

A.6：受理できません。郵便局留の住所のため、郵送以外の方法で受理することはできません。

Q7：兄弟で応募は可能ですか？

A.7：はい、可能です。ただし、必要書類は応募者それぞれの提出が必要です。

Q8：選考結果は応募者のもとに直接届きますか？それとも学校に届きますか？

A.8：選考結果は学校宛に、応募者全員分をお送りします。

Q9：選考結果が届いた後に学校側としてすることは何かありますか。

A.9：以下のような業務が予定されています。詳細については、またあらためてご連絡させていただきます。

- ① 受給手続き書類の返送
- ② 在籍確認書類の返送（年2回（8月、2月予定））
- ③ 活動報告書書類の返送

よくあるご質問（先生方向け）

■以下の、応募者向けの「よくあるご質問」も合わせてご確認ください。

I. 『まなべる基金（第7期）』の制度について

Q.1：『まなべる基金（第7期）』とはどのような奨学金制度ですか？

A.1：東日本大震災の影響により、住居の再建や修繕、福島第一原発事故の影響による避難などの理由で、家計における経済的な負担が増加し、進学・就学が困難な高校生を支援することを目的とした給付型（返還不要）の奨学金制度です。困難な状況の中でも、学ぶことを諦めない高校生を支援するため実施するものです。

Q.2：『まなべる基金（第7期）』で対象となるのはどのような生徒ですか？

A.2：詳細は『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』のP.5～8「2. 応募資格」のうち資格1～6の全ての項目を満たす生徒が対象になります。以下のような生徒が対象になります。

資格1：平成10年4月以降に生まれ、平成30年4月1日時点で高校に在籍していることが見込まれる生徒。

（ただし、平成29年9月現在、高校卒業資格を取得している生徒を除く）

資格2：東日本大震災発生時に岩手県・宮城県・福島県の小学校に在籍していた生徒で、かつ、その生徒の家庭で主に家計を支える方も岩手県・宮城県・福島県に居住していた

資格3：東日本大震災発生時に岩手県・宮城県・福島県で被災したことを、罹災証明書（半壊以上）または被災証明書の提出により証明できること。

資格4：応募者と家計を同一にする18歳以上の家族の「平成29年度所得証明書（平成28年1月～12月分）」の所得合計が基準を下回る生徒。

（※所得の合計基準の詳細については、『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』P.5「2. 応募資格 資格4：所得の合計基準」を確認してください。）

資格5：平成29年9月時点で他の給付型奨学金（実質給付型となる貸与型奨学金含む）を受給していない生徒。

資格6：東日本大震災における被災状況において、配慮すべき経済負担の事象が1つ以上該当する生徒

（※配慮すべき経済負担の詳細については、『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』P.6～8「2. 応募資格 資格6：配慮すべき経済負担がある」を確認してください。）

Q.3：奨学金の給付金額はいくらですか？

A.3：年間16万円（返還不要）です。4年制の高校等に通われる方は年間12万円（返還不要）です。

Q.4：奨学金の給付期間はいつまでですか？

A.4：3年制高校の場合は最長3年間、4年制の場合は最長4年間、高校等を卒業するまで給付します。

例1）4年制高校に通う平成30年4月に高校2年生になる生徒の場合

平成33年3月分までの最長3年間が給付対象期間となります。

例2）平成30年4月に3年制高校に入学した高校1年生で、1年留年してしまった場合

平成33年3月分で給付対象期間終了となります。

詳しくは募集要項を確認してください。

Q.5：4年制の定時制の場合は4年間給付がありますか？

A.5：4年制の定時制の場合には、年間12万円（返還不要）を最長4年間（総額48万円）給付します。

Q.6：5年制の高等専門学校の場合は卒業まで5年間給付されますか？

A.6：5年制の高等専門学校に在籍している場合は、高校課程の3年間のみ給付対象となります。よって、年間16万円（返還不要）を最長3年間給付します。

Q.7：通信制高校、特別支援学校も奨学金の給付対象となりますか？

A.7：はい、高校課程の場合は対象となります。

よくあるご質問（先生方向け）

Q.8：奨学金は一括で振り込まれるのでしょうか？

A.8：以下の給付予定月に年2回給付します。（※手続きの都合により多少前後する場合があります。）

給付予定月		前期6ヶ月分（4月～9月分）	後期6ヶ月分（10月～3月分）
給付予定月		4月（高校1年生は初回のみ5月）	10月
給付金額	3年制	80,000円	80,000円
	4年制	60,000円	60,000円

Q.9：奨学金の募集人数を教えてください。

A.9：120名程度です。

Q.10：奨学生の決定はいつごろ発表になりますか？

A.10：平成30年1月末を予定しています。採否の結果は、在籍校を通じて案内します。

Q.11：現在中学3年生です。奨学生に採用された後に奨学金願書に記入した志望校とは別の高校に入学した場合、採用は取り消されますか？

A.11：取り消されることはありません。平成30年4月に高校等に入学後、入学した学校の在籍証明書を提出してください。その在籍証明書の提出を給付開始の条件とします。その他の給付開始条件は『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』を確認してください。

Q.12：高校等を病気等で休学することになった場合の奨学金の給付について教えてください。復学した場合はどうなりますか？

A.12：奨学生が病気等による休学や1ヶ月以上の長期の欠席をする場合、奨学金の給付を停止します。当財団が認めた場合、奨学金受給の再開が可能です。なお、休学や長期の欠席が発生した場合は、速やかに当財団へ連絡し、『変更届』を提出してください。『変更届』には、奨学金ご担当者もしくは担任の先生に内容をご確認いただき、学校長の押印をもらう箇所があります。すべての記入が終わられましたら、奨学生本人または保護者の方より、まなべる基金事務局宛に書類をご郵送ください。

Q.13：高校等を途中で退学した場合の奨学金給付について教えてください。

A.13：奨学金の給付は終了となります。なお、その際は速やかに当財団へ連絡し、『変更届』を提出してください。『変更届』には、奨学金ご担当者もしくは担任の先生に内容をご確認いただき、学校長の押印をもらう箇所があります。すべての記入が終わられましたら、奨学生本人または保護者の方より、まなべる基金事務局宛に書類をご郵送ください。

Q.14：年1・2回の活動報告書は何月を目安にどちらにお送りすればよろしいでしょうか？

A.14：9月、1月頃在籍校を通じてご連絡させていただく予定です。

Ⅱ.『まなべる基金（第7期）』応募方法・応募書類の提出について

Q.1：応募方法を教えてください。

A.1：在籍校の担任の先生または奨学金担当の先生から、『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』を受け取ってください。『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』に記載された「Ⅲ.応募書類2.応募書類」（P.14～26）全て準備し、在籍校を通じて当財団へ提出してください。在籍校から当財団への応募締切は平成29年10月6日（金）消印有効ですが、在籍校ごと提出日は異なりますので、必ず期日を在籍校に確認してください。

Q.2：応募書類がダウンロードできません。

A.2：お手数ですが、在籍校の先生へ問い合わせてください。

よくあるご質問（先生方向け）

Q.3：応募締め切りを教えてください。

A.3：各校で定められた提出日までに在籍校に提出してください。
在籍校から当財団への応募締切は平成29年10月6日（金）消印有効です。

Q.4：所得証明書・住民票を入手するのに時間がかかり、応募締切に間に合いません。後日郵送でも受け付けられますか？

A.4：受付できません。所定の応募締め切りまでに必要書類をそろえて応募してください。

Q.5：奨学金願書や提出した各種証明書類は返却してもらえますか？

A.5：返却しません。手元にコピーを取って保管してください。

Ⅲ.『まなべる基金（第7期）』応募資格について

Q.1：現在中学3年生です。高校入学試験に合格すれば平成30年4月に高校入学の予定ですが、『まなべる基金（第7期）』に応募できますか？

A.1：応募できます。現在在籍している中学校を通して応募してください。平成30年4月に高校等に入学後、入学した学校の在籍証明書を提出してください。その在籍証明書の提出を給付開始の条件とします。その他の給付開始条件は『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』を確認してください。

Q.2：平成30年4月1日時点で中学3年生なのですが、来年度以降に応募することはできますか？

A.2：大変申し訳ありませんが、現時点では来年度以降の募集は予定していません。

Q.3：一度高校を卒業している生徒が、専修学校の高等課程に入学した場合は対象になりますか？

A.3：高校卒業資格をすでに取得されている方は応募できません。

Q.4：兄弟で応募することは可能ですか？

A.4：はい、可能です。ただし、応募書類はご兄弟それぞれ提出いただく必要があります。

Q.5：平成23年3月11日時点では岩手県・宮城県・福島県の学校に所属していましたが、今は避難して対象の3県以外（例 山形県、東京都）の学校に通っています。『まなべる基金（第7期）』に応募できますか？

A.5：応募できます。現在の在籍校を通して応募してください。

Q.6：平成23年3月11日時点で実家が岩手県・宮城県・福島県以外にあり、そこに保護者も住んでいます。自分だけ下宿して岩手県・宮城県・福島県の学校に通っていました。『まなべる基金（第7期）』に応募できますか？

A.6：応募できません。震災発生時に主に家計を支える方（応募者の保護者の方で、世帯の総収入のおおむね半分以上を支えている方）が岩手県・宮城県・福島県に居住していたことが条件となります。

Q.7：岩手県・宮城県・福島県に家族等で住んでいますが、父は現在東京に単身赴任をしています。『まなべる基金（第7期）』に応募できますか？

A.7：平成23年3月11日時点で家計を主に支える方（応募者の保護者の方で、世帯の総収入のおおむね半分以上を支えている方）が岩手県・宮城県・福島県に住んでいた場合であれば、現時点での居住地を問わずに応募できます。

よくあるご質問（先生方向け）

Q.8：現在、他の奨学金にも応募していて、結果を待っています。『まなべる基金（第7期）』に応募できますか？

A.8：応募できます。ただし重複受給ができるものと出来ないものがあります。以下の通りです。

■他の奨学金を受給していない場合

	奨学金の特徴	応募（併願）	重複受給
貸与型 奨学金	返還が必要なもの	○	○
	高校卒業で返還免除となる 実質給付型奨学金と同等のもの 例：宮城県被災生徒奨学資金	○	×
給付型 奨学金	返還が必要ないもの	○	×

他の給付型奨学金を併願している場合は、複数の給付型奨学金の受給が決定した時点で、「まなべる基金」を受給するか他の奨学金を受給するか、いずれかを選択してください。万が一、他の給付型奨学金との重複受給が発覚した場合は給付済みの奨学金を返還してもらいます。

Q.9：平成30年3月で支援の終了する奨学金を受給しています。『まなべる基金（第7期）』へ応募できますか？

A.9：応募できるものとできないものがあります。以下の通りです。

■他の奨学金を受給している場合

	奨学金の特徴	応募（併願）	重複受給
貸与型 奨学金	返還が必要なもの	○	○
	高校卒業で返還免除となる 実質給付型奨学金と同等のもの 例：宮城県被災生徒奨学資金	×	×
給付型 奨学金	返還が必要ないもの	×	×

Q.10：『まなべる基金（第7期）』の奨学生に採用された後に、他の給付型奨学金（コネスコ協会就学支援奨学金など）も受給できることになりました。『まなべる基金（第7期）』の奨学金は取り消されますか？

A.10：取り消されることはありませんが、どちらの奨学金を受給されるかを選択してもらいます。『まなべる基金（第7期）』を辞退する場合には『辞退届』の提出をお願いします。必要事項を記入の上、奨学生本人または保護者の方より、まなべる基金事務局宛に書類をご郵送ください。万が一、他の給付型奨学金との重複受給が発覚した場合は給付済みの奨学金の返還してもらいます。

Q.11：資格4に記載されている所得の基準はどのように算出すれば良いですか？

A.11：まず、応募者と家計を同一にする18歳以上の家族の「平成29年度所得証明書（平成28年1月～12月分）」を取得してください。取得した所得証明書に記載されている所得を足し合わせて算出します。なお、『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』のP.5「資格4：所得合計の基準」の家族構成人数（応募者と家計を同一にする家族の人数）に照らし合わせた際、基準を上回っている場合は応募できません。

Q.12：現在生活保護を受給しています。応募できますか？

A.12：『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』のP.5～8「2. 応募資格」のうち資格①～⑥の全ての項目を満たしていれば応募できます。ただし、奨学金の受給が決定した場合、生活保護費の減額につながる場合がありますので、必ず

よくあるご質問（先生方向け）

管轄の福祉担当の方へ相談するよう、指導をお願いします。

Q.13：現在被災3県から県外に避難をしています。避難先では借上げ住宅に入居していますが、応募できますか？

A.13：『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』のP5～8「2. 応募資格」のうち資格①～⑥の全ての項目を満たしていれば応募できます。なお、民間借上げ住宅（家賃が発生しないケース）は、「家賃のかかる賃貸住宅」には該当しませんので注意してください。

Q.14：震災当時居住していた住居が応募者の祖父母名義である場合は、「持家」に該当しますか？

A.14：該当します。「持家」とは、応募者の保護者または、震災当時または現在において応募者と家計を同一にしている祖父母名義の住宅を指します。

Q.15：「持家」が震災により一部損壊となったが、応募できますか？

A.15：『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』のP5～8「2. 応募資格」のうち資格①～⑥の全ての項目を満たしていれば応募できます。ただし、「資格③被災をしていることが証明できる」の事項では罹災証明書（半壊以上）または被災証明書の提出を必要としており、一部損壊の罹災証明書では受付できません。

Q.16：現在、応募者の保護者が無職の状態であるが、応募できますか？

A.16：応募できます。ただし、病気等の理由で働けない状況にあること、または雇用保険受給期間満了前で、かつ転職活動中であることが応募資格の条件です。状況の詳細は、「B. 奨学金願書」の該当する記入欄に記入してください。

Q.17：自分が応募資格に該当するかわからない場合はどうしたらいいですか？

A.17：『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』の「Ⅱ. 募集要項 2. 応募資格」P.5～8にてご確認ください。募集要項を確認してもわからない場合は、事務局までお問い合わせください。

Q.18：過去、まなべる基金に応募しましたが奨学生として採用されませんでした。第7期に応募することは可能ですか？

A.18：応募できます。ただし、『まなべる基金（第7期）』の応募資格を満たしていることが必要です。

Ⅳ. 『まなべる基金（第7期）』 応募書類の記入について

Q.1：奨学金願書、必要書類は全ページ記入し、提出しなければありませんか？

A.1：『まなべる基金（第7期）応募用紙』のうち、以下は全て提出してください。

- A. 応募資格チェックシート
- B. 奨学金願書
- C. 応募者の課題作文・保護者から応募者への思い
- D. 住民票
- E. 罹災証明書(半壊以上)または被災証明書
- F. 平成29年度所得証明書
- G. 「配慮すべき経済負担がある」ことを証明する書類

「H. 収入状況に関する追加提出書類」は、該当する方のみ提出してください。

必要書類に不備があった場合は不採用となりますので注意してください。

Q.2：鉛筆書きでも記入しても良いですか？

A.2：「B. 奨学金願書」は消えない黒のボールペンで記入してください。「C. 課題作文・保護者から応募者への思い」は鉛筆書きでも構いませんが、選考の過程でコピーを取りますので、濃く、はっきり見えるように記入してください。

Q.3：記入ミスは、修正テープや訂正印で対応しても問題ないですか？

A.3：はい。問題ありませんが、他の記入箇所が読めるように訂正してください。

よくあるご質問（先生方向け）

Q.4：現住所と住民票の住所が異なります。「B.奨学金願書」へはどちらの住所を記載すれば良いですか？

A.4：現住所を記入した上で、住民票の住所と異なっている理由を、「B.奨学金願書」の記入欄に記入してください。

Q.5：保護者は世帯主でなくても良いですか？

A.5：保護者は世帯主でなくても問題ありませんが、応募者の扶養をする方、もしくは親権を持つ方、あるいはそれに準ずる方を記入してください。

Q.6：奨学金願書で、家族等構成には同居の祖父母や東京で一人暮らしをしている大学生の姉兄も書く必要がありますか？

A.6：同居・別居問わず、家計を同一にする家族全員を記入してください。家計を同一にする家族とは、応募者と同居している家族、または別居していても食費・交通費などの生活費を同一にしている家族のことを指します。

ただし、同居している家族であっても、個別に収入があり、概ね独立して生計を立てている（生活費の概ね半分以上を自己負担している）者は、家計を同一にする家族とはみなしません。

Q.7：「収入」にはどういったものが含まれますか？

A.7：世帯に月々入る現金全てを指します。給与・営業所得・各種手当（児童手当や児童扶養手当）・各種年金（国民年金や厚生年金等）・賠償金・不動産収入等を含みます。

Q.8：課題作文・保護者からのコメントはページを追加して書いてもよいですか？

A.8：ページを追加していただいても構いません。

Q.9：課題作文は保護者の代筆でも良いですか？

A.9：応募者本人に障がいがあり、自書が難しい場合のみ保護者による代筆が可能です。それ以外の事情で本人以外の記述であることが明らかな場合は、不採用となります。

V.『まなべる基金（第7期）』必要書類について

Q.1：公的書類や証明書類はコピーでの提出でも良いですか？

A.1：コピーでも構いません。

Q.2：兄弟で応募する場合、公的書類などの提出書類は1部でも良いですか？

A.2：いいえ。必要書類は応募者それぞれ提出してください。公的書類はコピーでも受付可能です。

Q.3：家計は同一ですが、別居している家族の住民票も必要ですか？また、戸籍謄本等で代用できますか？

A.3：家計を同一にしている家族の場合、別居している場合でも住民票を提出してください。その他の書類では代用できません。お手数ですが、住民票を取り寄せて提出してください。

Q.4：住民票は戸籍筆頭者と世帯主が記載されているものでないとダメですか？

A.4：はい。住民票は戸籍筆頭者と世帯主が記載されているものを提出してください。

Q.5：住民票に記載された戸籍筆頭者が亡くなった場合はどうすれば良いですか？

A.5：「B.奨学金願書」に記入欄がありますので、事情を記入してください。

Q.6：応募時に罹災証明書は必要ですか？

A.6：罹災証明書（半壊以上）または被災証明書の提出が必要です。未提出の場合は、応募を受付できません。

Q.7：必要書類として、罹災証明書が記載されていたのですが、罹災証明書の原本を別の申請の時に提出してしまい、現在持っていません。提出しなくても応募できますか？

A.7：手元に原本・コピーがない場合は、再発行の手続きを対象の市区町村役場に問い合わせてください。

よくあるご質問（先生方向け）

Q.8：必要書類として、罹災証明書が記載されていたのですが、高速無料化カードの証明で代用できますか？

A.8：代用できません。罹災証明書を提出してください。

Q.9：所得証明書はどこに行けばもらえますか？

A.9：現在住んでいる（住民票がある）市区町村役場で発行しています。住民票が現在住んでいる市区町村と異なる場所にある場合も、郵送等で対応いただける場合がございます。詳しくは、住民票のある市区町村役場に問い合わせてください。

Q.10：平成29年度の所得証明書が必要ということですが、対象期間はいつになりますか？

A.10：平成29年度所得証明書は平成28年1月～12月の所得が記載されています。

Q.11：所得証明は所得がある人のみ提出すればよいですか？

A.11：所得証明は収入の有無に関わらず、応募者と家計を同一にする応募時点で18歳以上の家族全員分の提出が必要です。世帯全体の所得を確認するため、年金受給者や専業主婦、学生等、現在収入がない家族分についても提出が必要です。

Q.12：家計を同一にする家族の中に、現在18歳以上の大学生（または高校生）がいます。所得証明書は必要ですか？

A.12：平成29年度所得証明書については、高校生・大学生であっても応募時点で18歳以上の場合は提出が必要です。

Q.13：役所から「所得証明書が発行できない」と言われたのですが。

A.13：所得証明書が発行されない理由はいくつかありますが、これまでのケースは以下の通りです。

- (1) 自営業等で確定申告をしていない
- (2) 所得がない

※この場合は、『所得証明書』に0円と記載される市区町村と、『非課税証明書』が発行される市区町村に分かれるようです。その場合は『非課税証明書』でも受付します。お手数ですが、今一度役所へ問い合わせ、所得証明書発行について相談してください。

Q.14：役所から「非課税証明書しか発行できない」と言われました。非課税証明書でも応募できますか？

A.14：所得がない方について『非課税証明書』を発行する市区町村もあるようです。その場合『非課税証明書』でも受付ます。

Q.15：所得証明書ではなく源泉徴収票でもよいですか？

A.15：源泉徴収票では受付できません。家計を同一にする家族等全員の収入を正しく確認するために、所得証明書を提出してください。

Q.16：『まなべる基金（第7期）奨学金応募関連書類』に記載されている「資格6：配慮すべき経済負担があることを証明する書類」の必要書類を紛失してしまい準備できません。応募できないのでしょうか？

A.16：「資格6：配慮すべき経済負担があることを証明する書類」に必要な情報が満たされている場合は、他の書類でも代替可能です。迷った場合は、問い合わせ先の「まなべる基金」事務局宛に相談してください。